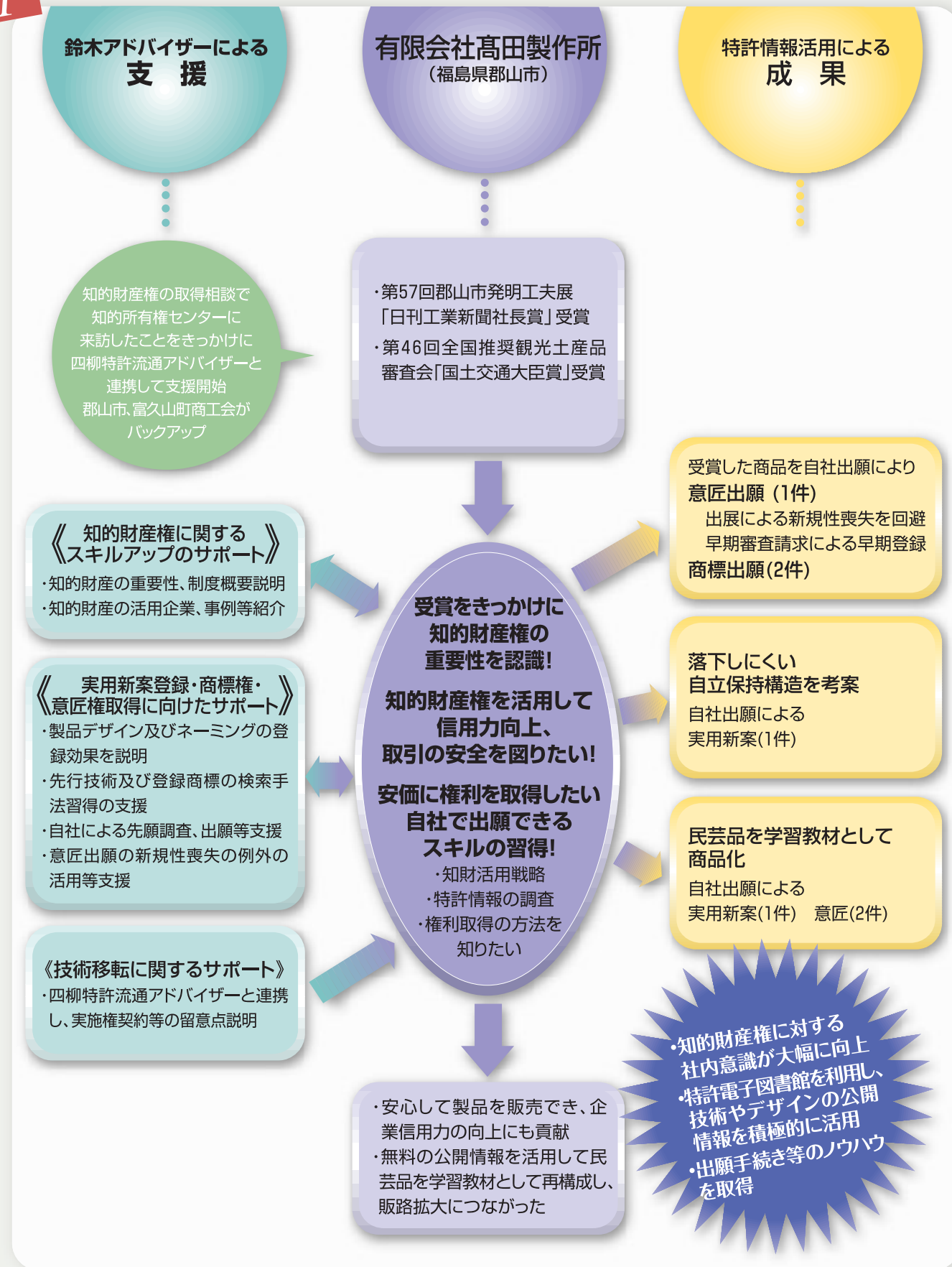


知的財産権を取得して企業信用力アップを目指す!

やじろべえ民芸品および学習教材の商品化支援

Case 1



鈴木 優 (福島県) 特許情報活用支援アドバイザーの一言



初回のご相談は、郡山市主催の発明工夫展への出展後であり意匠権取得の相談支援から始まりました。富久山町商工会の推薦で応募した全国推奨観光土産品審査会において国土交通大臣賞を受賞されたことで、地元新聞やテレビ報道により注目度が高まる中、市や商工会からも支援依頼を受けた案件です。自社製品第1号を目指して社長自らが知的財産権の取得に対して意欲的に取り組み、特許情報の調査・活用および手続きノウハウを習得していただきました。受賞作品については意匠と商標が登録となり、さらに実用新案権を取得していただくことができました。また、民芸品「てんびんとてこ」を学習教材として商品化したいとのご相談を受け、特許情報を活用した再構成の提案、実用新案と意匠の出願を支援することができました。民芸品、学習教材ともに自社に有利な販売展開がなされているとのこと。今後も特許や意匠などの公開情報をアイデア集として活用することで、高い商品力を有する新製品創出や知的財産権の取得による収益向上が期待されます。

企業からのひとこと

当社は精密機器の組立てや学習教材を製造する中小企業であり、自社製品を持っておりませんでした。郡山市発明工夫展で入賞した後、専門家への相談を経て福島県知的所有権センターに辿り着きました。鈴木特許情報アドバイザーから事業経営に知的財産権を活かすための製品戦略、出願戦略、手続手法などについてご説明いただき、講習会にも参加して自前の調査、出願手続きを経て意匠、商標、実用新案権を取得することができました。また、受賞作品を学習教材として再構成することになり、特許や意匠などの公開情報を活用して新たに実用新案、意匠の出願手続きを自社で行うことができました。当社のような中小企業では人材や資金の制約が多いことから、より良いものを早く安く商品化する手法として鈴木特許情報アドバイザーから特許情報を有効活用することについてもご提案いただき、次期商品の参考として社員が活用するようになりました。受賞作品は自社製品第1号となり意匠や商標権を取得していることから安心して製品を販売でき、企業信用力も向上し、当社の自信につながりました。今後も主力製品について知的財産権を有効に活用して収益力向上に役立てていきたいと思っております。

支援先企業の概要

会社名 有限会社高田製作所

■住所 福島県郡山市富久山町 ■設立 1983年 ■資本金 500万円 ■代表取締役 高田 吉平

1983年11月福島県郡山市においてカーステレオ起動部組み立てから創業開始、1990年7月に有限会社高田製作所として法人化した。事業内容は精密部品や実験教材の組立請負業であるが、地元企業間の連携を活かして中小企業1社では製造困難な少量多品種のものづくりを行っており、特に実験教材の新商品開発には意欲的に取り組んでいる。

この支援によって開発・販売された商品

商品名「いやしの福とんぼ」及び「バランスとんぼ」

民芸品「いやしの福とんぼ」



そっと息を吹きかけてみてください。いやしの風を少し与えると繊細な動きをします。心地好い気持ちと無心な心になれ、いやされた幸福なひと時を味わうことが出来ると思います。

学習教材「バランスとんぼ」



「いやしの福とんぼ」をもの作りの教材用に再構成したものです。揺らしても止まり木から落ちないバランスとんぼの工作を通して、工作の楽しさとバランスをとることの難しさを実感してください。